

平成27年度事業計画

平成27年度運営方針

平成26年の景気動向は、徐々に上向きとは言うものの4月に消費税増税が実施され、実質の物価上昇など経済情勢の不安定さもあいまって、実感の乏しい状況の中での一年でありました。観光に関しては、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産登録され、インバウンドにおいては、外国人の訪日客数が1300万人を突破し、訪日外国人の国内消費額から日本人旅行者の海外支出額を差し引いた旅行収支が約44年ぶりに黒字に転じるなど、インバウンドに終始した一年でありました。

三重県においては、一昨年式の年遷宮に続き、おかげ年や熊野古道世界遺産登録10周年のイベントがとり行われ、特に伊勢神宮の参拝者数は1080万人を超える結果となりました。またメディア等にも多く取り上げられ、三重県への観光客入り込みにおいて大きく貢献しました。

平成27年は日本においては団塊の世代が前期高齢者に入ります。旅行需要はまだまだ顕在化するものと考えられますが、旅行消費は拡大するとは考えにくい状況であると思われる。円安、雇用問題などにより今後の景気動向は予断を許さない状況であると思われる、観光業界においてもその影響を受け厳しいものになると思われる。

三重県観光連盟は、本年度締めくくりとなる三重県観光キャンペーンに県の観光事業推進における最大のパートナーとして、本年も引き続き一体となって取り組みます。今年も桑名、関宿の鳥居の立替と遷宮関連行事が行われます。また今年度は、ホンダのF1グランプリ復帰を始め、名松線の復旧や齋宮の復元など“復活”をテーマに多くのイベントが開催されます。遷宮から続く伝統行事や復活する観光資源、これらをいかに効果的に情報発信し、誘客に結びつけていくかが今年の連盟に課せられた使命であると考えております。お越しいただいたお客様が一人でも多く三重県ファン・リピーターになっていただくために、より一層会員及び関係機関との協働・連携を図り、また県内各地域が持つ地域の魅力を的確に掴み、効果的な観光情報発信・誘致宣伝を推進しながら各種事業を展開していきたいと考えております。県内外の人や各地域との活発な交流促進を図りながら、観光客の増大に向け誘致活動に取り組んでまいります。

インバウンドにおいては現在中部運輸局が主導している昇龍道プロジェクトに参画しており、海外誘客は今後の観光誘客の大きな柱となることは間違いありません。会員との交流、情報交換を密にしながら、県とともに情報収集・発信等の事業に取り組んでまいります。

1. 観光情報の収集発信

(1) 観光情報提供事業（21,958千円）

三重県観光の総合的な情報受発信機能を担う機関として、観光情報の収集、観光ニーズの把握及び観光情報の提供を行う。

① ホームページ作成管理

ホームページ「かんこうみえ」については、観光連盟としての独自性のあるサイトを立ち上げるなど内容充実に取り組むとともに、バナー広告等による財源の確保に取り組む。また、三重県観光キャンペーン公式サイトも併設する。

・ホームページを中心とした情報提供

トップ画像やイチオシによる旬の情報の効果的な提供、イベント・スポット・モデルコース情報の充実、メールマガジンによる情報発信を行う。

・SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）による情報提供

フェイスブック、ツイッター、LINEにオフィシャルページを設けて観光情報を発信する。

② 観光案内

電話、インターネット、窓口等での観光案内や観光資料等の提供を行う。

・フリーダイヤル等による情報提供

③ 観光情報発信・案内業務（県受託事業予定）

三重県観光キャンペーンのPRを行い、本県への誘客を促進するとともに本県を訪れる観光客の方々に細かな観光案内を行うことで、周遊性・滞在性の向上を図る。

- ・県内外の集客施設及び大規模イベント等における三重県観光キャンペーンのPR
- ・安濃SA、御在所SA、外宮前観光案内所（伊勢市観光協会）における案内実施
- ・三重県観光キャンペーンPRツール、観光ガイドブック等の保管業務

(2) 観光情報提供強化事業（22,688千円）

季節ごとの県内の観光情報を提供する季刊紙「観光三重」、会員を中心に県内の主な観光施設、宿泊施設、グルメ、お土産等を紹介した「三重の観光ガイド」の発行を通じ、観光地情報、イベント情報等のきめ細かい情報発信に努める。

また、中部国際空港に観光ガイドマップ等を設置し、中部国際空港利用者への情報提供も引き続き行う。

① 季刊紙「観光三重」の発行

② 「三重の観光ガイドブック」の増刷

(3) 広域観光事業（812千円）

日本観光振興協会の広域観光振興事業を活用し、三重県観光のPR及び観光客誘致を推進する。

- ・日本観光振興協会などとの連携

2. 誘致拡大のための広報宣伝

(1) 観光宣伝事業（8,492千円）

県内外で開催されるイベントのうち、より集客力のあるものに出展し、三重県観光のPRを行う。

また、県内各地のフィルムコミッションの連携支援や研修を行う。

さらには、愛知・岐阜との共同事業を実施するなど誘客に努める。

- ① 各種観光展への出展
- ② フィルムコミッション支援事業（県受託事業予定）
- ③ 産業観光スタンプラリーの共催
- ④ 大都市圏会員活動支援事業
- ⑤ F1日本GP地域活性化協議会への参画
- ⑥ 三重県観光キャンペーン推進協議会への参画

(2) 協働宣伝事業（14,674千円）

観光連盟と観光連盟会員がそれぞれの強みを生かしながら協働で宣伝事業の企画、運営を行う。

また、プレス関係者等を対象にした観光情報提供について、より効果的でタイムリーな三重県観光の情報発信に努める。

- ① ラジオ番組等でのPR
 - ・ラジオ等を使った定期的な観光情報の発信
- ② メディアに対する恒常的な情報提供
 - ・メディアに対し、専用ホームページ・メールマガジンを通したきめ細かな対応の展開
- ③ インターネット等を活用した情報発信
 - ・ホームページのバナー広告等を使った観光情報の発信
- ④ 首都圏における情報発信（観光交流会）（県受託事業予定）

県内の観光事業者・市町等と連携し、メディア等に対し三重の観光情報発信等を展開する。イベントそのものが話題を呼ぶような仕掛け作りを行い、首都圏における本県の知名度の向上を図り、誘客につなげる。

3. 観光産業及び観光文化の振興

観光物産連携事業（636千円）

県内外で開催される物産展と連携した観光PRを展開する。

- ・物産観光展出展事業

4. 観光基盤整備

(1) 観光基盤整備事業（3,072千円）

観光連盟の事業運営に関して、会員の意向を反映し効果的な事業展開を図るため、会員相互の情報交換・意見交換の場を設定し、ネットワークを強化する。

また、多様な分野の産業から構成される観光事業者等の連盟加入を推進し、観光振興のパートナーづくりを更に進める。

さらには、三重県観光キャンペーンのみえ旅案内所職員などを対象におもてなし向上のための研修会を開催する。

- ① 地域懇談会事業
- ② おもてなしセミナー事業〈県受託事業予定〉
- ③ 観光事業振興功労表彰

(2) 観光ボランティアガイド事業（623千円）

おもてなし三重観光ボランティアガイド連絡協議会へ事業委託し、ボランティアガイド間の連携、組織の強化を図る。

主な委託内容

- ・総会、全体研修会、地区交流研修会等の開催

5. 外客誘致促進事業

国際観光事業〈県受託事業予定〉（2,587千円）

外国語版ホームページにより三重県の観光情報を提供する。

- ・外国語版ホームページ保守管理等